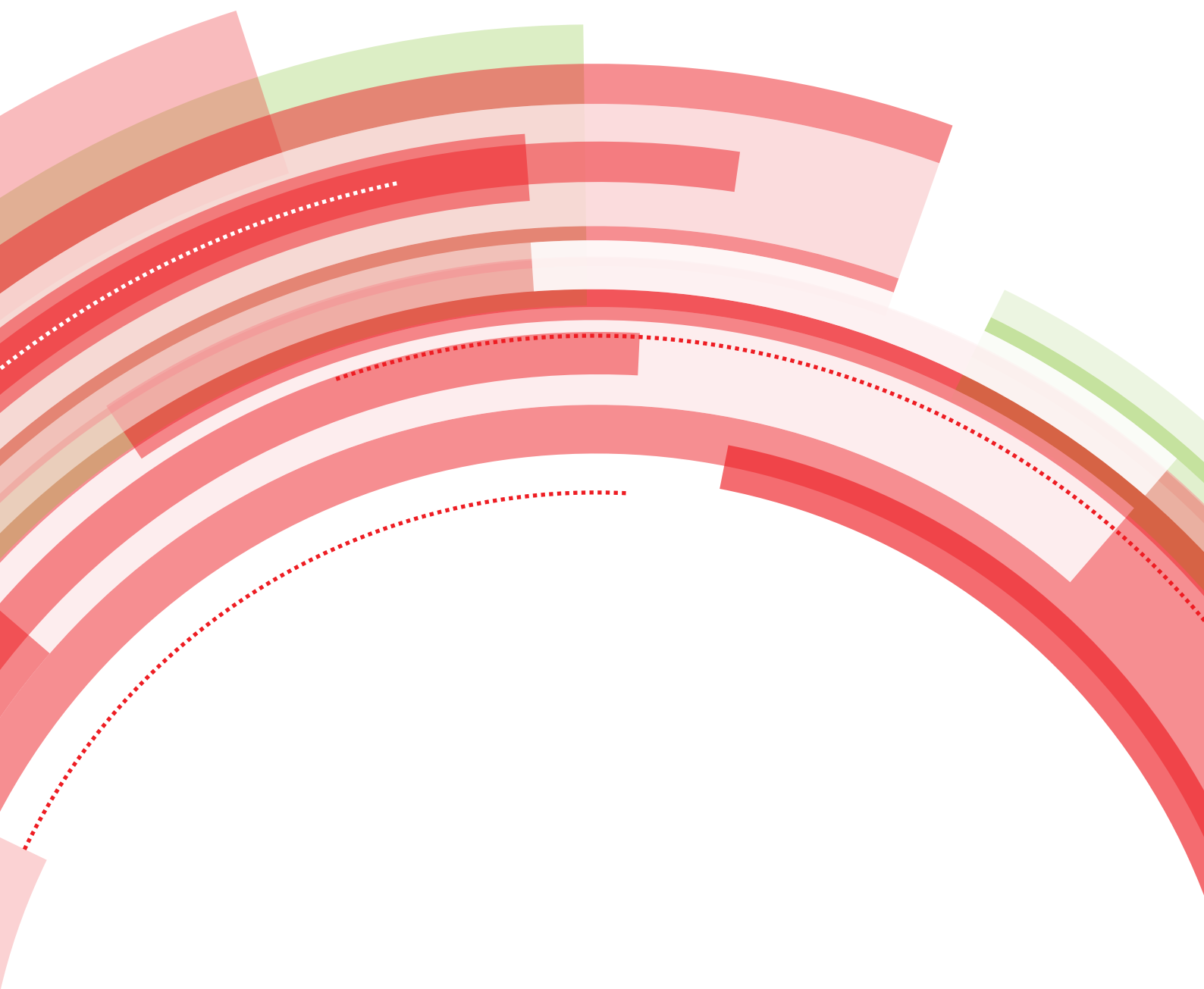


CSRの取組 | 社会貢献活動
Philanthropic Activities
2013



目次

社会貢献活動	1
動画でわかる社会貢献活動	3
基本方針	4
社会貢献活動事例	6
三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ) 基金	8
社会福祉活動	14
里山保全プロジェクト	16
地球環境保護活動	19
科学技術振興	21
小・中・高校向け理科教育推進プロジェクト	23
地域貢献	24
文化・スポーツ	27
北海道・東北	30
関東	32
中部	36
関西	40
中国・四国	44
九州・沖縄	46
アメリカ	48
ヨーロッパ・アフリカ	50
アジア・オセアニア	56
米国三菱電機財団	61
三菱電機タイ財団	64
災害支援・復興支援	66
2009年以前の災害支援情報	67
どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援	69
スポーツチームによる復興支援	71
これまでのあゆみ	73



トピックス

- ▶ 「どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援」を行っています。
- ▶ 神奈川県で里山保全活動を開始しました。
- ▶ 熊本県で里山保全活動を開始しました。
- ▶ 社会福祉法人中央共同募金会様から感謝状をいただきました。

基本方針

基本方針のほか、体制や活動分野についてご紹介いたします。



動画でわかる
三菱電機の
社会貢献活動

▶ 動画ページへ

社会貢献活動事例

三菱電機では、以下の5分野を中心に社会貢献活動を推進しています。

社会福祉

地球環境保護

科学技術振興

地域貢献

文化・スポーツ

財団のご紹介



▶ 米国三菱電機財団



▶ 三菱電機タイ財団

災害支援・復興支援

これまでのあゆみ

更新情報

- ▶ 2013年05月31日 社会貢献活動を定期更新しました。
- ▶ 2013年05月24日 「どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援」について掲載しました。
- ▶ 2013年04月23日 中国・四川省地震の被害に対する支援について
- ▶ 2012年11月27日 「小・中・高校向け理科教育推進プロジェクト」について掲載しました。
- ▶ 2012年02月22日 「三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金」が設立20年

動画でわかる社会貢献活動

社会貢献活動への取り組み ～ひとりひとりの小さな一歩から～



社会貢献活動への取り組み
～ひとりひとりの小さな一歩から～(全編)

 動画を見る 

[約13分]

社会福祉
三菱電機SOCIO-ROOTS基金
のご紹介



 動画を見る 

[約04分]

地球環境保護
里山保全プロジェクトの
ご紹介



 動画を見る 

[約04分]

海外財団のご紹介



 動画を見る 

[約03分]

基本方針

誰もが笑顔で過ごせる社会を創るために、みんながやさしさをもって新しい社会に共存できるように、三菱電機は、「技術、サービス、創造力の向上を図り、活力とゆとりある社会の実現に貢献する」という企業理念に基づいた社会貢献活動を広く国内外で行っています。

体制図



1990年に「社会貢献活動委員会」を発足させ、それまで事業所ごとに行われてきた社会貢献活動をもとに、「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」をはじめとする全社的な取組みを開始しました。1991年には米国とタイに財団を設立し、「社会福祉」や「科学技術振興」の分野で取組んでいます。

委員会発足以来、地域に根ざした活動を推進し、国内各事業所はもとより、国内外関係会社においても、様々な社会貢献活動を展開しています。

社会福祉

三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオールーツ)基金を柱に、障がい者や高齢者の方を支援しています。この制度には毎年多くの社員が参加し、これまで累計約1,500以上の社会福祉施設で寄付を実施してきました。

▶ 詳しくはこちら

科学技術振興

次世代の新技术を担っていく若い人たちの向学心や探求心を応援するため、出前授業や工作教室、科学教室などで、子どもたちに当社製品の基礎技術をわかりやすく伝えています。

▶ 詳しくはこちら

地域貢献

社員ひとりひとりの自発性・創意を基盤に、ボランティア活動や独自のコミュニケーション活動を全国の事業所で展開しています。

▶ 詳しくはこちら

地球環境保護

日頃の事業活動によって発生させる環境負荷を社員一人一人が認識し、自ら汗をかいて環境保全の重要性を示すことを狙いとして、事業所近郊の自然環境を回復する「里山保全プロジェクト」を推進しています。

▶ 詳しくはこちら

文化・スポーツ

人生を「豊かに」「楽しく」おくるため、グローバルに広がる文化・スポーツの分野でも、子どもたちや地域の方々はその素晴らしさを伝えています。

▶ 詳しくはこちら

三菱電機の社会貢献活動にはおもに5つの分野(上図参照)があります。

各事業所では地域のニーズに応じ、これらの分野における独自の活動を展開しています。近年では、特に「社会福祉」、「地球環境保護」、「科学技術振興」の3つにおいてより積極的な活動を全社的に展開しています。

社会貢献活動事例

三菱電機では、豊かな社会の実現とその持続的な発展のため、社会の幅広い層と力を合わせ、持てる資源を有効に活用しながら、社会的課題の解決に向けた社会貢献活動を展開しています。

全社的な取り組みを推進する一方で、各事業所と地域とのコミュニケーションから生まれたユニークな活動も数多く実施しています。

各活動分野での事例を見る



社会福祉

「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」を柱に、全国で人に優しい活動を実施しています。

[▶ 詳しくはこちら](#)



科学技術振興

次世代の新技术を担っていく若い人たちを応援しています。

[▶ 詳しくはこちら](#)



地域貢献

各事業所ごとに独自の活動を実施しています。

[▶ 詳しくはこちら](#)



地球環境保護

社員自ら汗をかき、環境保全活動に取り組んでいます。

[▶ 詳しくはこちら](#)



文化・スポーツ

こどもたちや地域の方々に、文化やスポーツの素晴らしさを伝えています。

[▶ 詳しくはこちら](#)

各地域での活動を見る

地域別の活動事例をご覧ください。



三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」を社会福祉分野の柱として、障がい者や高齢者のみなさんを積極的に応援しています。



お知らせ

- ▶ 2013年3月、当基金の永年の活動に対し、社会福祉法人 中央共同募金会様より感謝状をいただきました。
- ▶ 当基金は、2012年4月で設立20年を迎えました。

概要

1992年に開始した「三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金」は、社員からの寄付と同額を会社が上乗せ(マッチング)し、社会福祉施設や団体に拠出する**マッチングギフト制度**です。善意の寄付を倍にするこの基金には毎年多くの社員が参加しており、2013年3月時点で累計約1,670件、金額にして約9.5億円を社会福祉施設などに寄付しています。

全国の事業所にその支部を置き、社員の善意を各地域の社会福祉施設などへお届けするお手伝いをしています。設立当初から各都道府県の共同募金会にお世話いただいております。寄付先の紹介をはじめ、地域ニーズ把握などの面でご協力いただいております。

一人一人の思いやりが大きなサポートとなり、社会で多くの笑顔の花を咲かせられるよう、「草の根的な募金活動」という意味を名前に持つ当基金は、着実に地域に根ざした活動を続けていきます。

動画でわかる社会貢献活動

三菱電機 SOCIO-ROOTS (ソシオルーツ)基金



動画をみる



設立のきっかけ

本基金が生まれたきっかけは、「香典返しを是非、福祉施設で役立ててもらいたい」という社員の強い申し出でした。そのような善意を会社としても大切にしたい、何かバックアップできないかと検討を重ねた結果、1992年に全国規模で基金を立ち上げました。以来、行政の手が回らず困っている社会福祉施設を支援の対象とし、寄付先のニーズに合わせた活動を継続しています。

寄付事例

各事業所では社員が気軽に寄付できるよう、募金活動にも工夫をこらしています。チャリティーバザーやチャリティーオークション、自動販売機を活用した募金活動など、それぞれの事業所に合った活動を行っています。

「しゃべるテレビ」の寄贈 ～ 当社の強みを活かした製品を～



電子番組や操作メニュー等を音声で読み上げできる当社の液晶テレビREAL(しゃべるテレビ)を、視覚に障がいのある方たちを支援するため寄贈しています。

▶ [「しゃべるテレビ」とは](#)

「命のバトン」設置事業に協力(愛知県稲沢市) ～ 地域のニーズに根ざした活動を～



独居世帯が増えた社会的背景を受け、2011年に稲沢市社会福祉協議会が開始した「命のバトン」※設置事業に、ソシオルーツ基金からの寄付が役立てられています。

📄 [「命のバトン」とは\(PDF: 3,049KB\)](#)

東日本大震災に関する寄付
～社員の声に応える活動～



2013年4月 贈呈式の様子

社員からの要望に応え、被災した子どもたちへの支援を継続して行っています。
2012年度は、合計3,350万円を12団体へ寄付しました。

▶ [詳しくはこちら](#)

担当者の声



伊丹製作所 総務部 赤穂総務課
(左)松村 光晴 (右)庵口 久美

赤穂地区では、1992年から毎年、市内の障がい者自立支援施設などの社会福祉施設へ寄付を行っています。

赤穂市と連携して寄付先ニーズにそった物品(主に当社製家電品)を贈呈しています。施設を利用される方達やスタッフのみなさんから、「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただく度に、この活動に対する意義と継続していくことの大切さを感じています。

2010年には長年の寄付活動に対し、赤穂市より感謝状を授与されました。地域との共生を掲げての活動が実を結んできていると感じており、引き続き地域と連携した寄付活動を行っていきます。

協力先の声(社会福祉法人 中央共同募金会)

三菱電機SOCIO-ROOTS基金とのお付き合いが始まった1992年頃は、企業による社会貢献活動が今ほど活発ではありませんでした。そんな中、他の企業に先駆けてマッチングギフト制度を取り入れた三菱電機は、寄付の文化を作る先駆的な存在だったと思います。

共同募金会は、社会福祉の現場と企業との架け橋としてサポートを続けており、善意のネットワークが広がっていくのを見るのは、大変嬉しいものです。

地域の声に耳を傾けながら、着実に実績を残してこられた三菱電機SOCIO-ROOTS基金には、これからも是非、活動を継続して欲しいと思います。



▶ [社会福祉法人中央共同募金会ウェブサイト\(2012年度の贈呈の様子\)](#)

2013年3月に、当基金の永年の活動に対し、社会福祉法人 中央共同募金会様より感謝状をいただきました。

▶ [社会福祉法人中央共同募金会ウェブサイト](#)



左:社会福祉法人中央共同募金会 常務理事 中島 謙次様
右:三菱電機SOCIO-ROOTS基金 理事長 市毛 正行
(2013年3月時点)

東日本大震災について

被災された方々に対し、謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたします。

義援金での支援

2011年3月17日から約1ヶ月間実施した募金活動では、社員からの寄付がおよそ1億3千7百万円集まりました。これに会社が同額をマッチングしたおよそ2億7千4百万円を、被災者支援の義援金として2011年4月28日に社会福祉法人 中央共同募金会に寄付しました。

震災遺児をはじめとする被災地の子どもたち支援

東日本大震災の発生後、被災された方への支援を望む社員の声を受け、当基金では震災遺児らを支援するための活動を2011年8月から開始しました。

2011年度は、福島県内の児童養護施設と「東日本大震災みやぎ子ども育英基金」へ合計1,700万円を寄贈しました。

2012年度は昨年度の寄付先に加え、「いわての学び希望基金」および「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」と、震災や津波等で親を亡くした子どもたちの心のケア支援を行っている「NPO法人子どもグリーフサポートステーション」および「あしなが育英会」へ、合計3,350万円の支援を行いました。



岩手県庁での贈呈式



宮城県庁での贈呈式



福島県庁での贈呈式



NPO法人子どもグリーフサポートステーション、あしなが育英会への贈呈式



福島県内の児童養護施設への贈呈式

マッチングギフトとは

「従業員が市民活動団体などへ寄付する場合、企業も同じ対象団体に、同額あるいは一定割合を上乗せして寄付を行う制度」※1

会社が、社員の「寄付しよう」という気持ちを後押しする制度です。たくさんの企業で、マッチングギフト制度が取り入れられています※2。

※1 (社)日本経済団体連合会 企業行動憲章 実行の手引き 第6版

※2 (社)日本経済団体連合会が実施した2009年度社会貢献活動実績調査結果では、回答した354社中、81社が導入済み。

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保護



▶ 科学技術振興



▶ 地域貢献



▶ 文化・スポーツ

社会福祉活動

社会福祉 | 地球環境保護 | 科学技術振興 | 地域貢献 | 文化・スポーツ

社会福祉活動

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、障がい者や高齢者のみなさんを積極的に応援しています。柱のプログラム(三菱電機SOCIO-ROOTS基金)以外にも、それぞれの事業所で主体的に実施している活動の一部をご紹介します。

独居老人宅枝おろしボランティア(群馬県太田市)



三菱電機群馬ボランティア会では、一人暮らしをしているご高齢者宅の樹木剪定を1998年から毎年行っています。毎回、30名ほどの会員が樹木の伸び具合に応じて庭木の枝おろしをしています。

剪定が終わった後で、家主から「ありがとう」と言ってもらえると、とてもすがすがしい気持ちになります。

あしながPウォーク10(石川県金沢市)

北陸支社では、地球規模の遺児支援のボランティア活動「あしながPウォーク10」の金沢コースに、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」とも参加しています。この活動では参加費が「あしなが育英会」に寄付され、教育支援活動費用として活用されます。私たちが自身が社会貢献活動について考える良い機会となっています。



車いすテニスクリニック(兵庫県三木市)



三菱電機テニス日本リーグチーム「ファルコンズ」は、日本テニス協会ナショナルコーチ及び兵庫県車いすテニス協会のご支援のもと、「車いすテニスクリニック」を2010年から開催しています。当イベントへは、兵庫県など関西からの車いすテニス愛好家が参加し、一緒に心地よい汗をかいています。テニスを通じて、健常者と障がい者がコミュニケーションを図ることができ、互いの理解を深めることの大切さを学んでいます。

知的障がい者の方の施設で奉仕活動(兵庫県赤穂市)

赤穂地区では、赤穂市立知的障害者授産施設での奉仕活動を、1996年から毎年実施しています。

赤穂工場で製造している変圧器から出た廃材の処理(銅線に巻かれている絶縁紙を取り除く作業)を当施設に委託していることから、廃材処理の指導と施設周辺の草刈りを実施しています。毎回、利用者と楽しく会話しながら爽やかな汗を流しています。



社会貢献活動分野

社会福祉

地球環境保護

科学技術振興

地域貢献

文化・スポーツ

地球環境保護

[社会福祉](#)[地球環境保護](#)[科学技術振興](#)[地域貢献](#)[文化・スポーツ](#)[里山保全プロジェクト](#)[地球環境保護活動](#)

里山保全プロジェクト

三菱電機では、事業活動で地球環境に配慮するだけでなく、社員が主体となって、行政や地域のみなさんに理解いただきながら環境保全活動に取り組んでいます。

柱のプログラムとなる「里山保全プロジェクト」の活動をご紹介します。

お知らせ

2013年4月、本社地区の活動「富士山育林ボランティア」に対して、活動の協力先である[住友林業株式会社](#) から感謝状をいただきました。

概要

2007年10月から、事業所周辺の公園や森林、河川などの“身近な自然”を回復する活動「里山保全プロジェクト」を実施しています。

このプロジェクトの狙いは、多様な生命を育み、様々な恵みを与えてくれる自然へ「恩返し」とともに、事業所のある地域に貢献することです。「地道と継続」をキーワードに、各地域の状況に合った活動を段階的に展開しています。

社員自らが汗をかき、安心・安全な地域づくりに参画することで、地域の方々とのコミュニケーションを深めていきたいと考えています。

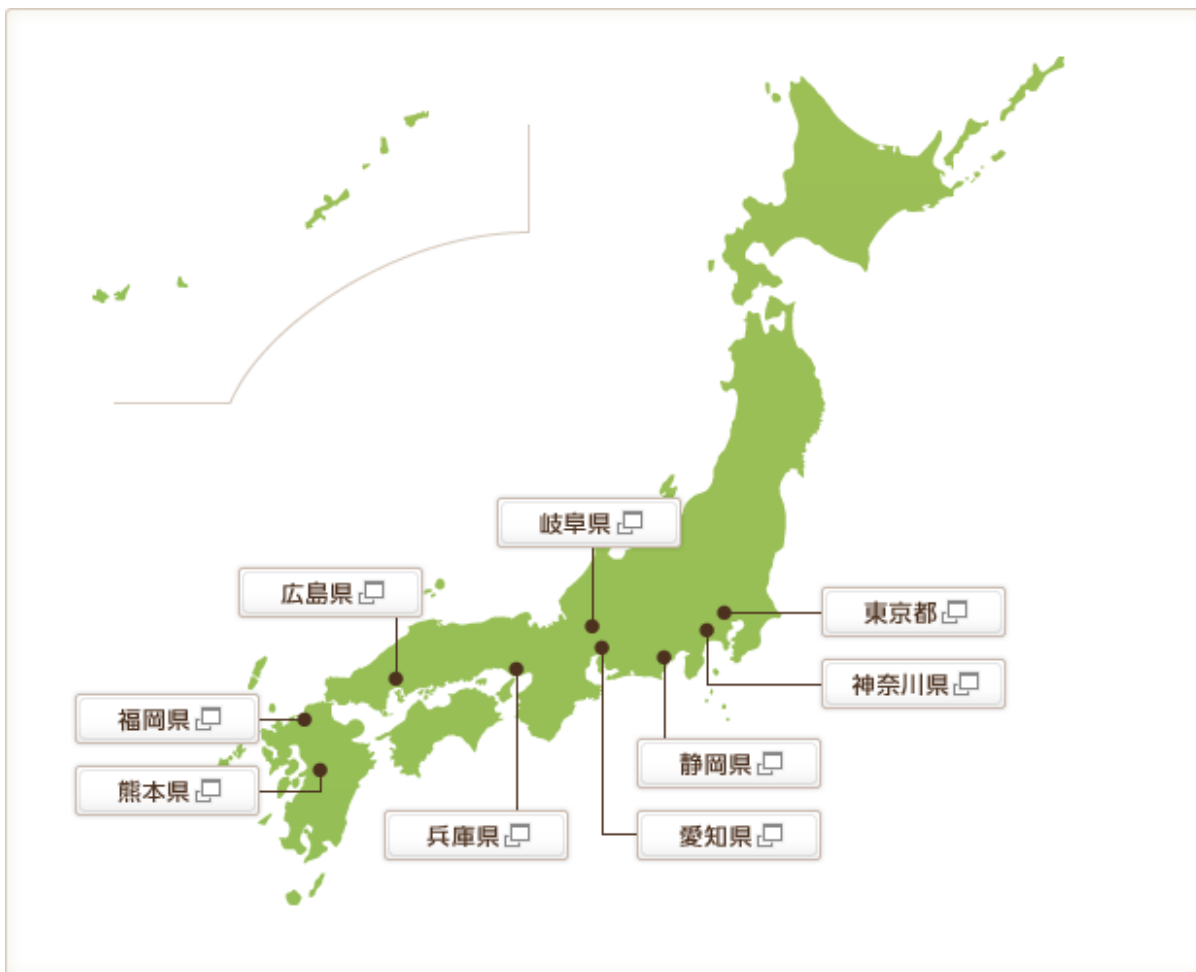
動画でわかる社会貢献活動
里山保全プロジェクト



[動画を見る](#)

各地域での活動紹介

全国の事業所で、それぞれの地域に応じた里山保全活動を実施しています。



海外での活動

世界各国の拠点でも、「SATOYAMAイニシアティブ」にかかわる活動を実施しています。



「SATOYAMAイニシアティブ」とは

「世界各地に存在する持続可能な自然資源の利用形態や社会システムを収集・分析し、地域の環境が持つポテンシャルに応じた自然資源の持続可能な管理・利用のための共通理念を構築し、世界各地の自然共生社会の実現に活かしていく取組」(環境省ウェブサイトより)

2010年に開催されたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を契機に、世界中で注目が集められています。

社会貢献活動分野



地球環境保護活動

社会福祉 | 地球環境保護 | 科学技術振興 | 地域貢献 | 文化・スポーツ

里山保全プロジェクト以外にも、各事業所で積極的に取り組んでいる活動があります。ここでは、その取り組みの一部をご紹介します。

みつびしでんき野外教室

自然を大切にする心「環境マインド育成」のため、野外教室を開催しています。地域の子どもたちにも参加してもらい、喜んでいただいています。

▶ [みつびしでんき野外教室についてはこちら](#)

活動の様子



まるやま自然探検隊(北海道札幌市)



みつびしでんきおやこ野外教室(京都府長岡京市)

里山保存活動(石川県金沢市)

北陸支社は、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」の社会貢献活動として、2009年から、能美市内でサクラ・コナラ植栽地の下草刈りを行っています。地元の緑化推進委員会の方にご指導いただきながら、使い慣れない鎌で草刈りを行い、活動に取り組んでいます。



近隣小学校への「環境出張教育」(神奈川県鎌倉市)

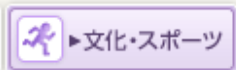


鎌倉製作所は毎年、近隣小学校の生徒を対象に、社員が先生となって「環境出張教育」を実施しています。小学生の環境マインド育成を目的とし、社員ひとりひとりが取り組んでいる様々な取り組みを紹介しています。

また、当社が2011年に打ち上げた商用通信衛星や、宇宙ステーションに物資を運ぶ「HTV」をはじめとした人工衛星についても一緒に紹介しています。

授業が、こどもたちの環境に対する芽を育むきっかけになればと思います。

社会貢献活動分野



次世代の新技术を担っていく若い人たちの向学心や探究心を伸ばすため、学術支援のための寄付金や奨学金といった支援に加えて、近年では社員が主体となって進める「科学教室」や「科学工作教室」などで未来のエンジニアの卵を応援しています。

科学教室



電機メーカーならではの社会貢献活動として、子どもたちに当社製品のユニークなしくみを「キーテクノロジー」として伝える「科学教室」を、2010年から段階的に実施しています。

実験に参加したり、クイズに答えたりして、子どもたちに科学を楽しみながら学んでもらっています。



地域での活動

中津川製作所(岐阜県) 稲沢製作所(愛知県) 受配電システム製作所(香川県) 長崎製作所(長崎県)
京都製作所(京都府) 福山製作所(広島県) パワーデバイス製作所(熊本県)

小・中・高校向け理科教育推進プロジェクト

2009年度から「小・中・高校向け理科教育推進プロジェクト」をスタートさせました。「理系離れ・理工系離れ」が指摘される中、理科に興味をもってもらうため、当社人材開発センターでは、学校での出前授業や理科実演イベントの開催などを行っています。

電気や熱、音や風、光、といった基本原理、通信や情報の仕組みなどをわかりやすく学べるテーマを探り上げています。

「理科大好き人間」を育てたい、という熱い思いを胸に、関係者一同頑張っています。

▶ [詳しくはこちら](#)



各事業所の特長を活かした活動

- ▶ 子ども科学工作教室(長野県飯田市)
- ▶ 音の日「ダイヤトーン」(兵庫県三田市)


社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保護

 ▶ 科学技術振興

 ▶ 地域貢献

 ▶ 文化・スポーツ

小・中・高校向け理科教育推進プロジェクト

理科教育推進プロジェクトの活動の一部をご紹介します！

「熱の伝わり方」

ボトルの中に雲をつくったり、ヒートパイプで氷を切ったりする実験を通じて、材料による熱伝導率の違い、さらにはヒートパイプの原理を理解します。



「君も通信エンジニア」

通信の歴史をひもときながら、モールス信号や電話機等、いろいろな通信の原理を実験を通じて体験し、さらには光や電波を使った現在の通信装置のしくみを学習します。

「プログラミングの基本を学ぼう」

コマンドブロックを並べてロボットを動かす「アルゴリズムック」というゲームを通じて、プログラミングの基礎となるアルゴリズムを楽しく学ぶ。

※ PCの利用環境がないと実施できません。



当社ではこうした活動を、

- 学校に出向いて授業の一環として
- 社外一般イベントに参加して
- 尼崎市での当社イベントにて

といった様々なスタイルで展開しています。

理科教育推進プロジェクトに関するお問い合わせは、以下までお願いします。

【お問い合わせ窓口】 三菱電機株式会社 人事部 人材開発センター 計画グループ

心安らぐ地域づくりのため、良き企業であり良き市民であることをめざし、社員ひとりひとりの自発性・創意を基盤に、全国の事業所で独自のコミュニケーション活動を展開しています。

中学生の職場体験学習(京都府長岡京市)



京都製作所では2000年から毎年、地元である長岡京市の中学生を対象に、液晶テレビを組み立てる職場体験学習を行っています。これは、実際の仕事を体験してもらうことで、職業観や勤労観を身につけてもらうという学校教育に協力しているものです。

毎年、職業体験を終えた学生さんから「組立完成後に3D映像が映った時は感動した」、「社会のルール・マナーや礼儀、働いてお金をいただく事を実感した」などの感想を聞き、大変やりがいを感じています。この活動が認められ、2010年3月には、長岡京市教育委員会から感謝状が贈られました。

街路樹剪定ボランティア(群馬県太田市)

三菱電機群馬ボランティア会では、会社前道路の歩道に植栽された街路樹の剪定を、1998年以前から毎年行っています。

剪定されすっきりとした金木犀並木が、秋にはたくさんの花を咲かせて、香りを楽しませてくれることを思うと、作業の疲れも癒されます。



収穫物のおすそわけ

飯田工場で収穫したりんごを福祉施設に寄贈 (長野県飯田市)



毎年暮れに、中津川製作所飯田工場の構内で収穫したりんごを、地元(中津川市・飯田市)の社会福祉施設に寄贈しています。甘くておいしいと、多くの方々に喜んでいただいています。

グリーンカーテンプロジェクトで 採れたゴーヤを福祉施設へ(香川県丸亀市)



受配電システム製作所では、自然のカーテンで夏の日差しを遮るため、工場の窓際にゴーヤを植えています。省エネになるだけでなく、収穫したゴーヤを毎年、近隣の福祉施設へ贈呈し、喜んでもらっています。

中島公園100周年記念植栽活動(北海道札幌市)

北海道支社は、札幌市中央区にある中島公園での植栽活動に参加しています。この活動は、三菱系企業19社(札幌菱友会・三菱業務懇談会)が2011年の開園100周年を記念し当公園へ寄贈した花壇4箇所、社員とその家族が毎年花を植えるものです。初年には当活動に対し札幌市より感謝状が授与されています。

チューリップや紫のビオラや黄色のマリーゴールドなどを植えて公園に彩りを添えるこの活動は、札幌における社会貢献の一助として2014年まで継続予定です。



全社地域貢献活動と札幌市中央区アダプト制度への参加(北海道・(株)北弘電社)



株式会社北弘電社(三菱電機関係会社)は、2009年から年に2回、地域貢献活動として歩道や公園の清掃を全社的に行っていきます。道内の各支社がそれぞれ活動を実施しており、本社がある札幌では、2010年10月に札幌市の「中央区道路アダプト制度※」に参加しています。

アダプト(adopt=養子にする)制度とは

道路や公園などの公共空間を養子にみたくて、市民や町内会、企業、商店街などが里親となり、養子のお世話(=清掃美化活動)をする制度です。

地域での清掃活動

全国の事業所で、清掃活動を展開しています。



長崎製作所(長崎県)



パワーデバイス製作所(熊本県)



先端技術総合研究所(兵庫県)

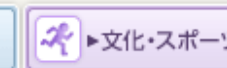


群馬製作所(群馬県)



北陸支社(石川県)

社会貢献活動分野



人生を「豊かに」「楽しく」おくるため、グローバルに広がる文化・スポーツの分野でも、子どもたちや地域の方々にその素晴らしさを伝えています。

当社スポーツチームによる活動

テニス



三菱電機テニスチームに所属するプロ選手や社員選手が、全国でテニスクリニックを実施しています。プロ選手のサービスリターンにチャレンジなど楽しいイベントがあり、生徒のみなさんにはいつも大変喜んでいただいています。

▶ [三菱電機テニス日本リーグチーム ファルコンズ](#) 

バスケットボール



三菱電機男女バスケットボールチームは、各地で開催される小・中学生を対象としたバスケットボール教室に、コーチ・選手を定期的に派遣し、バスケットボール普及のために積極的に活動しています。

▶ [三菱電機ダイヤモンドドルフィンズ名古屋](#) 
▶ [三菱電機コアラーズ](#) 

バドミントン



2007年から大阪市スポーツみどり振興協会が主催する、小・中学生を対象にしたバドミントン教室に、日本リーグで活躍する「三菱電機バドミントンチームダイヤモンドウィングス」所属の選手を派遣しています。参加することもたちには、一流のプレーを間近に見たり体感したりできると、とても喜んでいただいています。

▶ [三菱電機 スポーツポータルサイト D Sports](#)

アメリカンフットボール

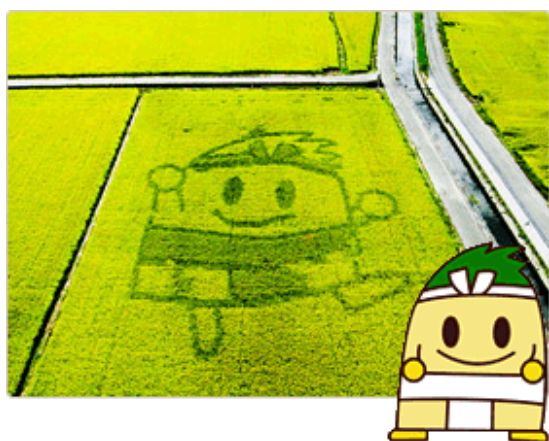


2012年6月に、東日本大震災の復興支援ボランティアとして、宮城県の南三陸歌津地区でアメフトパワーを活かした土嚢づくりや丸太撤去などを行いました。また、チアリーダーが披露したダンスパフォーマンスは、仮設住宅に住む皆さまに喜ばれました。

▶ [オール三菱ライオンズ](#) 

田んぼアート(愛知県稲沢市)

稲沢製作所では、市民グループ「稲人の会」が食育や地域おこしをきっかけに始めた「田んぼアート※」に2007年から参加しています。現在では近隣の小学校の米作りの体験学習の一環として位置付けられ、市内のボーイスカウトと一緒に支援を行っています。春には泥んこになって田植えをし、秋には稲が描き出す絵を楽しんでいます。



いなっぴー
稲沢市マスコットキャラクター

「田んぼアート」とは

いろいろな種類の稲を使って田んぼに絵を描いたものを「田んぼアート」と言います。稲の種類により葉の色や稲穂の色が違うことから、それらの稲をうまく組み合わせています。

社会貢献活動分野

社会福祉

地球環境保護

科学技術振興

地域貢献

文化・スポーツ



みつびしでんき野外教室「まるやま自然探検隊」(北海道札幌市)



「土」ってどんなにおいがするの？
かいでみよう！



エゾシマリスも
顔をだします

北海道支社は、札幌市中央区にある円山公園(円山原生林麓)で、野外教室を2010年から開催しています。対象は、地元の幼稚園へ通う子どもとそのご家族です。研修を受けた野外教室リーダー(社員)のもと、参加者はおよそ1時間30分、ルーペ片手に五感を使いながら自然を観察します。教室では、季節の花木や動物がかじった痕がある松ぼっくりを観察したり、厚い葉を手でさわってみたりします。そして土の匂いをかぎ、ミミズや小さな虫、きのこなどの役割を考えることで生まれる「人が捨てたゴミは土にならないから捨てちゃいけないんだ」という子どもたちの気づきを大切に、自然の循環、環境を守るエコな心を育てています。



中島公園100周年記念植栽活動(北海道札幌市)

北海道支社は、札幌市中央区にある中島公園での植栽活動に参加しています。この活動は、三菱系企業19社(札幌菱友会・三菱業務懇談会)が2011年の開園100周年を記念し当公園へ寄贈した花壇4箇所、社員とその家族が毎年花を植えるものです。初年には当活動に対し札幌市より感謝状が授与されています。

チューリップや紫のピオラや黄色のマリーゴールドなどを植えて公園に彩りを添えるこの活動は、札幌における社会貢献の一助として2014年まで継続予定です。





札幌市中央区アダプト制度への参加(北海道・(株)北弘電社)



株式会社北弘電社(三菱電機関係会社)は、2009年から年に2回、地域貢献活動として歩道や公園の清掃を全社的に行っています。道内の各支社がそれぞれ活動を実施しており、本社がある札幌では、2010年10月に札幌市の「中央区道路アダプト制度※」に参加しています。

アダプト(adopt=養子にする)制度とは

道路や公園などの公共空間を養子にみたくて、市民や町内会、企業、商店街などが里親となり、養子のお世話(=清掃美化活動)をする制度です。

▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



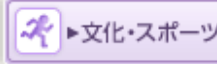
▶ 地球環境保護



▶ 科学技術振興



▶ 地域貢献



▶ 文化・スポーツ



海・平野・山での里山保全活動(神奈川県鎌倉市、相模市、横浜市)



2013年3月に行った鎌倉市農地回復活動の様子

神奈川県内の事業所では、海・平野・山の自然に富んだ神奈川県の特長を生かした3つの里山保全活動のプログラムを、行っています。

活動内容

鎌倉市農地回復活動：
荒れた農地から農作物が良く育つ農地への回復を目指す活動

こもれびの森保全活動：
全国でも珍しい都市部に隣接した平地林の存続を目指す活動

アマモ再生活動：
海水浄化作用のある海草・アマモ場を再生し、海の浄化・生態系の保全を目指す活動

鎌倉市農地回復活動については、より地域と連携した活動を展開するため、2013年4月に鎌倉市遊休農地解消対策協議会と「鎌倉市遊休農地解消対策実践活動協定」を締結しました。

<関連ニュースリリース>

▶ [「神奈川県での里山保全活動を開始」](#)



近隣小学校への「環境出張教育」(神奈川県鎌倉市)

鎌倉製作所は毎年、近隣小学校の生徒を対象に、社員が先生となって「環境出張教育」を実施しています。小学生の環境マインド育成を目的とし、社員ひとりひとりが取り組んでいる様々な取り組みを紹介しています。

また、当社が2011年に打ち上げた商用通信衛星や、宇宙ステーションに物資を運ぶ「HTV」をはじめとした人工衛星についても一緒に紹介しています。

授業が、子どもたちの環境に対する芽を育むきっかけになればと思います。





独居老人宅枝おろしボランティア(群馬県太田市)



三菱電機群馬ボランティア会では、一人暮らしをしているご年配者宅の樹木剪定を1998年から毎年行っています。毎回、30名ほどの会員が樹木の伸び具合に応じて庭木の枝おろしをしています。

剪定が終わった後で、家主から「ありがとう」と言ってもらえると、とてもすがすがしい気持ちになります。



街路樹剪定ボランティア(群馬県)

三菱電機群馬ボランティア会では、会社前道路の歩道に植栽された街路樹の剪定を1998年以前から毎年行っています。


剪定されすっきりとした金木犀並木が、秋にはたくさんの花を咲かせて、香りを楽しませてくれることを思うと、作業の疲れも癒されます。





富士山育林ボランティア



本社地区(東京都)では、社内でボランティアを募り、1996年に台風被害を受けた富士山の自然林復元活動「富士山育林プロジェクト」(ご協力:住友林業株式会社様)を実施しています。年に3回、自然のサイクルに合わせて、主に補植や下草刈り、枝打ち、間伐などを行っています。雄大な富士山のもとで、職場の同僚や家族、友人と同じ目標に向かって汗を流すのは最高の気分です。



2013年で10周年を迎えた当活動に対し、4月に住友林業株式会社様より感謝状をいただきました。今後も、定期的な活動を通じて被害を受けた森林の再生を目指します。

左:住友林業株式会社 代表取締役社長 市川 晃 様
右:三菱電機株式会社 執行役社長 山西 健一郎



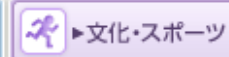
ふるさとの森サポーター(埼玉県・三菱電機ホーム機器(株))

三菱電機ホーム機器株式会社(三菱電機関係会社)の地元にある「鐘撞堂山ふるさとの森」は、四季折々の自然を満喫できる深谷市唯一の里山です。地域主催の「鐘撞堂山ふるさとの森」の環境保全に、当社も2010年から「ふるさとの森サポーター」として参加しています。主な活動は、ハイキングコースの下草の刈取りや清掃で、年2回行っています。2年目となった2011年には当社独自の取り組みとして、従業員20名が参加し、ふるさとの森に桜(ヤマザクラ10本、ソメイヨシノ3本)の植樹も実施させてもらいました。



▶ 「各地域での活動を見る」に戻る

社会貢献活動分野





夏祭り科学ショー(愛知県稲沢市)

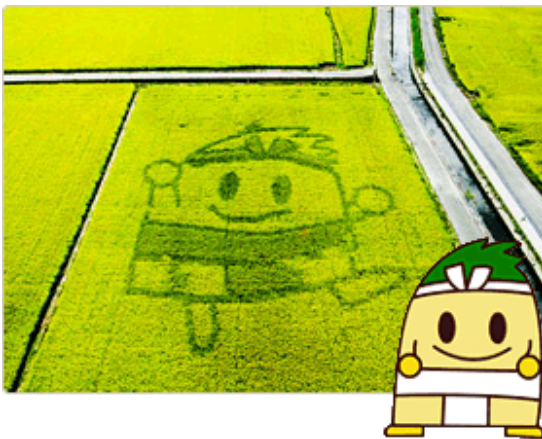


毎年8月に開催している三菱夏まつりで、2010年からこどもを対象とした社員による科学ショーを行っています。稲沢製作所の製品であるエレベーターに使用されている「遠心力」や「再生エネルギー」といった技術を、社員手作りの模型を使って、楽しみながら学べるよう工夫して説明しています。



田んぼアート(愛知県稲沢市)

稲沢製作所では、市民グループ「稲人の会」が食育や地域おこしをきっかけに始めた「田んぼアート※」に2007年から参加しています。現在では近隣の小学校の米作りの体験学習の一環として位置付けられ、市内のボーイスカウトと一緒に支援を行っています。春には泥んこになって田植えをし、秋には稲が描き出す絵を楽しんでいます。



いなっぴー
稲沢市マスコットキャラクター

「田んぼアート」とは

いろいろな種類の稲を使って田んぼに絵を描いたものを「田んぼアート」と言います。稲の種類により葉の色や稲穂の色が違うことから、それらの稲をうまく組み合わせています。



みんな元気な森づくり隊(愛知県名古屋市)

名古屋地区は2007年10月に、愛知県と「企業の森づくり」協定を企業として初めて締結しました。以降、有識者のご指導のもと、地元の方々や関係団体との連携を図りながら、名古屋市守山区に位置する東谷山※1の県有林において、里山保全活動を推進しています。

森林整備や美化活動に加えて、愛知守山自然の会※2の森林インストラクターの方にご協力いただきながら、自然の尊さを学ぶ自然観察会の開催や、間伐材など山にある材料を使った工作教室なども実施しています。参加したこともたちには、自然とのふれあいを楽しんでもらっています。

2010年度には中部支社も活動に加わり、ますます活発に活動を展開しています。



※1 東谷山：名古屋製作所が愛知県と締結した「企業との森づくり協定」に基づき里山保全活動の拠点としている名古屋市守山区にある約5haの県有林。

※2 愛知守山自然の会：名古屋製作所の里山保全活動に理解を示していただき、活動の企画・実施に関し支援・協力いただいている団体。



里山保存活動(石川県金沢市)



石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」の社会貢献活動として、2009年から、能美市内でサクラ・コナラ植栽地の下草刈りを行っています。地元の緑化推進委員の方にご指導いただきながら、使い慣れない鎌で草刈りを行い、活動に取り組んでいます。



あしながPウォーク10への参加(石川県金沢市)

北陸支社では、地球規模の遺児支援のボランティア活動「あしながPウォーク10」の金沢コースに、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」とともに参加しています。この活動では参加費が「あしなが育英会」に寄付され、教育支援活動費用として活用されるというものです。私たち自身が社会貢献活動について考える良い機会となっています。





環境ボランティア「森のめぐみ塾」(岐阜県中津川市)



中津川製作所ボランティアクラブが中心となり、県立公園「根の上高原・つつじ園」にて森のめぐみ塾(里山保全活動と子どもたちへの環境塾)を立ち上げました。

2008年6月に中津川市および根の上高原観光保勝会と「根の上 生きた自然公園」づくり協定を結び、市や地域の方々と協力しながら、毎回50名程度の参加者が植生調査や下草刈りに汗を流しています。また、親子での「野外教室」や自然にあるものを使って遊ぶ「森のめぐみ大会」も同時開催し、参加者全員で自然の大切さを学んでいます。

「継続」をキーワードに、地域の方々や地元団体と協力しながら、フィールドである県立公園「根の上高原・つつじ園」が美しくなり、県内外から多くのお客様を迎えられることを目標に活動を進めています。



安倍川清掃ボランティア(静岡県静岡市)

静岡製作所では、静岡市環境局が企画した「河川環境アドプトプログラム」(河川との縁組)に参画し、2003年より安倍川清掃ボランティア活動を実施しています。2010年には清掃活動に先立って、社員とその家族を対象に「みつびしでんき野外教室」を開催しました。

環境に対する意識向上と、環境をよりよいものに変えていく行動力醸成のため、今後もより多くの従業員が参加できるよう取り組んでいきたいと考えています。



子ども科学工作教室(長野県飯田市)



地域内の企業11社がボランティアで集まり、飯田市美術博物館を会場に「子ども科学工作教室」を運営しています。この教室は、小学生に、ものづくりの楽しさや、科学への興味を持ってもらおうと1992年からスタートしたものです。

年に4回、中津川製作所飯田工場からも社員を派遣してものづくり教室を行っており、「三極モーターカー・天体望遠鏡・ソーラーカー・FMラジオ」について子どもたちに話をしています。



飯田工場で収穫したりんごを福祉施設に寄贈(長野県飯田市)

毎年暮れに、中津川製作所飯田工場の構内で収穫したりんごを、地元(中津川市・飯田市)の社会福祉施設に寄贈しています。甘くておいしいと、多くの方々に喜んでいただいています。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保護



▶ 科学技術振興



▶ 地域貢献



▶ 文化・スポーツ

みつびしでんき親子野外教室(京都府長岡京市)



京都製作所では、2006年から「みつびしでんき親子野外教室」を開催しています。参加者は、社員やその家族、そして地域のご家族で、近年では毎年秋に行うイベントとして定着してきています。

教室では、虫や草花をルーペで観察したり、土や植物を実際に手で触ってにおいを嗅いでみたりと、自然の恵みを五感を使って楽しむ工夫が沢山あります。社員が教室のリーダーとなり、毎年違うテーマで開催することには苦労もありますが、そのぶん大人も子どもも夢中になって自然に親しんでいる様子を見ると報われます。

これからも自然の素晴らしさを伝えていけるよう、この活動を充実させていきたいと思っています。

科学の楽しさを伝える「子ども科学教室」(京都府長岡京市)

京都製作所では、2012年から若手社員が先生となって子どもたちに液晶テレビの仕組みを伝える「科学教室」を開催しています。

教室では、分光シートを使って光にはどんな色があるのかを探し、光の三原色がどのように混ざると何色になるのか顕微鏡で観察します。また、分解した液晶テレビの実物でその構造を学び、参加者全員が楽しみながらテレビの仕組みを知ることができます。

2013年3月には、近隣の小学校の生徒を対象に開催しました。今後も、このようなイベントを通じて科学が大好きな子どもを増やしていきたいと思っています。



中学生の職場体験学習(京都府長岡京市)



京都製作所では2000年から毎年、地元である長岡京市の中学生を対象に、液晶テレビを組み立てる職場体験学習を行っています。これは、実際の仕事を体験してもらうことで、職業観や勤労観を身につけてもらうという学校教育に協力しているものです。

毎年、職業体験を終えた学生さんから「組立完成後に3D映像が映った時は感動した」、「社会のルール・マナーや礼儀、働いてお金をいただく事を実感した」などの感想を聞き、大変やりがいを感じています。この活動が認められ、2010年3月には、長岡京市教育委員会から感謝状が贈られました。



知的障がい者の方の施設で奉仕活動(兵庫県赤穂市)

赤穂地区では、赤穂市立知的障害者授産施設での奉仕活動を、1996年より毎年実施しています。赤穂工場で製造している変圧器から出た廃材の処理(銅線に巻かれている絶縁紙を取り除く作業)を当施設に委託していることから、廃材処理の指導と施設周辺の草刈りを行っています。毎回、利用者と楽しく会話しながら爽やかな汗を流しています。



バドミントンクリニック(兵庫県尼崎市)



2007年から大阪市スポーツみどり振興協会が主催する、小・中学生を対象にしたバドミントン教室に、日本リーグで活躍する「三菱電機バドミントンチームダイヤモンドウイングス」所属の選手を派遣しています。

参加することもたちには、一流のプレーを間近に見たり体感したりできると、とても喜んでいただいております。



瑞ヶ池公園の桜を育てる会(兵庫県伊丹市)



1986年に設立した「瑞ヶ池公園の桜を育てる会」は、伊丹市の桜を守り育てるため、近隣住民の方と一緒に社員22名から活動を開始しました。その功績が認められ、2009年には財団法人日本さくらの会より、日本最高峰の「さくら功労者」として表彰され、2011年には伊丹市より、他の模範となる善行をたたえる善行賞「つつじ賞」を受賞しました。そして、日米友好の桜を米国へ寄贈して100周年を迎えた2012年には、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しています。

瑞ヶ池周囲には、ソメイヨシノ・山桜・八重桜など、約600本の桜が植樹されております。現在は会員50名で枯枝剪定・施肥・清掃活動などをし、伊丹市緑化協会及び近隣の自治会長などの協力のもと活動中です。

▶ [日米友好の桜についてさらに知りたい方はこちら](#)



「社会貢献同好会」森林ボランティア(兵庫県神戸市)



2007年に自主参加の活動メンバーを募り社会貢献同好会を立ち上げ、兵庫県篠山市油井地区の共有林で年7回、活動を行っています。地元、行政、当社で「油井鎮守の森を守る会」を発足し、定期的に活動についての打合せをしています。

「子どもたちが遊べる広場づくり」を目指して、40年間放置された自然林の間伐、遊歩道整備といった森林整備活動を実施しています。現在、子どもたちと一緒に森の観察や工作ができるように整備中です。都会とは全く違う空気と森林浴、そして木々を整備することで、メンバー全員が森のパワーをもらっています。



音の日ダイアトーン(兵庫県三田市)

三田製作所では、2010年から「音の日(12月6日)」のイベントとして、近隣中学校技術部の生徒を招待して「音の日DIATONE音体験会」を開催しています。人が聞き分けられる音の周波数や、スピーカーの音が振動板の素材によって違いが出ることを、実際に音を聞きながら体験してもらっています。



兵庫県立有馬富士公園での里山保全活動(兵庫県三田市)



三田製作所では、2011年から里山保全活動を開始し、社員からなる事務局で活動を運営しています。活動場所は三田市にある兵庫県立有馬富士公園で、生木の生育を妨げる草や笹を刈ったり、伐採されたまま放置されている竹の回収作業を行ったりしています。

12年度からは関西支社の協力も得て、より幅広い活動を展開しています。



サッカー交流大会(和歌山県和歌山市)

冷熱システム製作所では、スポーツを通じて障がいや年齢の壁を越えた交流を深めることを目的に、2000年から従業員が中心となって地域のろう学校、支援学校のこどもたちとのサッカー交流大会を行っています。

毎回、大人もこどもも勝ち負けに関係なく、楽しい時間を共有しています。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



▶ 社会福祉



▶ 地球環境保護



▶ 科学技術振興



▶ 地域貢献



▶ 文化・スポーツ



わくわく子供科学教室(香川県丸亀市)



2011年から「0.03秒で大きな電気をストップ」と題し、受配電システム製作所の製品を、実験を交えて紹介する「わくわく子供科学教室」を開催しています。教室では、白衣を纏った社員が博士となって受配電製品の役割を分かりやすく説明します。

「静電気から小さな雷が発生」、「電気と磁石の関係」、「ストップウォッチで0.03秒にみんなで挑戦」など、いろいろな科学実験をこどもたちに体験してもらっています。



グリーンカーテンプロジェクトのゴーヤを福祉施設へ(香川県丸亀市)

受配電システム製作所では、自然のカーテンで夏の日差しを遮るため、工場の窓際にゴーヤを植えています。省エネになるだけでなく、収穫したゴーヤを毎年、近隣の福祉施設へ贈呈し、喜んでもらっています。





神辺四季の森づくり(広島県福山市)



福山製作所では、2009年12月に福山市神辺町の御領山で開催された「神辺四季の森づくり」事業に社員・家族で参加し、植樹を手伝ったことがきっかけとなり、翌年の2010年に活動をスタートしました。

このフィールドは、広島県内でも有数の緑豊かな松林地帯でしたが、近年松枯れで荒廃し、森林の機能が失われつつあります。そこで、松枯れに強いとされる「スーパー松」の苗木を育て、災害に強い緑豊かな森林に再生しようと、神辺町下御領生産森林組合が中心となり、広島県東部森林組合や地区の自治会、小学校、消防団などと一緒に活動を推進しています。

最近では、この場所で子どもたちと一緒に椎茸の植菌教室を開くなど、活動の幅が広がっています。今後も、定期的の下草刈りを行い、私たちが植樹した松の成長を見守っていきます。



科学教室「君のお家にもいる！？電気の見張り番たち」(広島県福山市)

福山製作所では、2012年に創立70周年を記念して子どもたちへの科学教室を開催しました。教室では、当製作所の主要製品である遮断器や電力量計の仕組みを、実験を交えて説明しました。フレミングの法則、アラゴの円盤など大人でも難しい内容でしたが、子どもたちは楽しく学べたようです。

今後も、このようなイベントを通じて科学が大好きな子どもを増やしていきたいと思えます。




▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)


社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保護

 ▶ 科学技術振興

 ▶ 地域貢献

 ▶ 文化・スポーツ



熊本地区「わぶ川清掃活動」(熊本県合志市)



熊本地区では、1982年から毎年春に、工場脇を流れる「上生(わぶ)川」の土手の草刈りと工場周辺道路の清掃作業を、関係・協力会社や取引業者の方達と一緒にしています。

毎回、作業前の土手には大量の草が生い茂り、川の流れも見えない状態ですが、2時間程の作業で、きれいな川の流れが戻ってきます。

2013年3月には、地元の活動として改めて合志市と協定を結びました。今後も川の持つ心なごむ風景と地元の環境を保つため、この活動を続けていきます。



液晶ディスプレイの仕組みを学ぶ科学実験ショー(熊本県合志市)

パワーデバイス製作所(熊本工場)は、子どもたちを対象にした科学実験ショーを2012年に初めて開催しました。教室では、液晶ディスプレイの仕組みについて、実験を交えながら新人エンジニアが説明しました。子どもたちは、光の三原色など、科学の不思議さに驚いたり、パソコンの液晶画面を顕微鏡で見たりして、科学への興味を深めてくれました。



科学ショー(長崎県長崎市)



2011年から長崎製作所では、地元の子どもたちを対象に「屋外用のオーロラビジョン」をテーマにした科学ショーを行っています。「光の三原色」の説明を通じて、いろいろな色が組み合わさって映像ができていくことを知ってもらったり、「画面を見やすくするメカニズム」を説明し、画面に太陽光が当たっても映像がなぜはっきりと見えるのかを模型で体験してもらったりします。当社の製品を知ってもらうだけでなく、科学への興味を持ってもらうのが狙いです。

元気いっぱいな子どもたちの素直な反応が嬉しい、やりがいのある活動です。



里山保全活動・野外教室(福岡県福岡市)

九州支社では、2011年に「福岡市油山自然観察の森」での里山保全活動を開始しました。この場所は、子どもたちに自然の大切さを知ってもらうため以前から実施している「みつびしでんき野外教室」の活動拠点でもあります。

森のために、他にもお役に立てることがないか相談したところ、常緑樹の落葉清掃や看板清掃、その他森の自然を守るごみ拾いのリクエストを受け、活動を実施することになりました。

活動終了後にはプチ野外教室も開催しており、大人も子どもも楽しみながら自然循環の仕組みと自然との共生について理解を深めることができる、きっかけ作りに繋がればと思っています。




▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)


社会貢献活動分野

 ▶ 社会福祉

 ▶ 地球環境保護

 ▶ 科学技術振興

 ▶ 地域貢献

 ▶ 文化・スポーツ

桜の植樹活動(アメリカ)



電力、社会インフラ製品の製造・販売拠点であるMitsubishi Electric Power Products, Inc.の従業員ボランティアは、毎年4月にNPO法人「ピッツバーグさくらプロジェクト」とピッツバーグ日本協会と協力しながら、ピッツパークのノースパークで桜の植樹を行っています。

米国三菱電機財団との活動

米国三菱電機各社の社員ボランティアは、「Changes for the Better」の精神で、米国三菱電機財団と共に様々なイベントを行っています。1991年以来、社員ボランティアの活動時間は約45,000時間となっています(2012年時点)。

▶ [「米国三菱電機財団」の活動を見る](#)



よりよい未来をつくるために(コロンビア)



Mitsubishi Electric de Colombia Ltda.は、高齢者支援や、経済的に恵まれない子どもたちに対する教育支援を行う施設や団体へ寄付しています。1989年の工場設立当初から、そのような子どもたちが通う近隣の学校へ寄付を行っているほか、地元のサッカーチームのスポンサーにもなっています。

2011年からは、ABC PRODEIN財団の経済的に恵まれない子どもたち10名を対象に、食事や教育を支援するための寄付を行っています。子どもたちを支援することで、将来的には社会も変えることができると信じ、活動を続けています。

植樹活動(メキシコ)

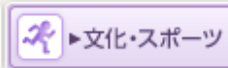
メキシコの当社拠点各社の従業員は、地球温暖化対策としてメキシコ市郊外で毎年、植樹活動を行っています。2012年8月には、合計120名の従業員とその家族が活動に参加しました。

これからも、この活動を続けていきます。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野



セーブ・ザ・チルドレンへの寄付



Mitsubishi Electric Europe,B.V. はゴルフイベントと夕食会で¥10,000を超える額の寄付を集め、セーブ・ザ・チルドレンへ贈りました。セーブ・ザ・チルドレンは、世界で危機や災害が起こった際に駆けつける、子どもたちのための民間の国際援助団体です。

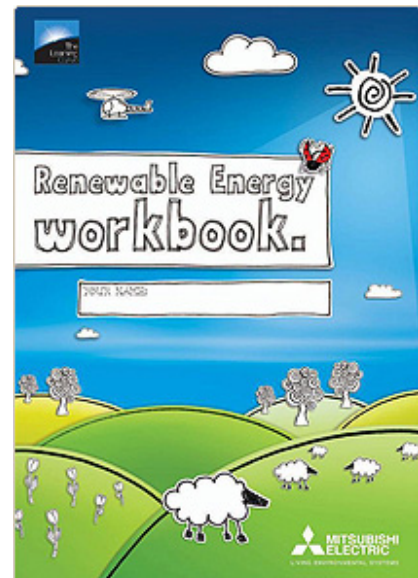
今回のイベントは、資金を集めるための特別プログラムの一環で、2012年10月にはペルーのマチュピチュで8日間のチャリティーハイキングを行い寄付を募りました。

再生可能エネルギーについての教育プログラム(イギリス)

Mitsubishi Electric Europe,B.V. は、若者へ再生可能技術について教える教育プログラムの先駆者として、国内で高い評価を得ました。

Mitsubishi Electric Europe,B.V.では学校の生徒たちへ3R(Reduce, Reuse, Recycle)を取り入れることの大切さについて教えており、会社の施設見学もこの教育カリキュラムに含まれています。

この活動は、再生可能エネルギー分野で最も価値のある「The National Heat Pump Awards」の「優秀トレーニング」部門で優勝しました。審査員はこのプログラムについて「子どもたちの再生可能技術に対する関心を促す全く新しい方法で、感動してわくわくされる」と評価しました。



日英高校生サイエンスワークショップ(イギリス)



Mitsubishi Electric Europe,B.V. は2008年から、「日英高校生サイエンスワークショップ」を支援しています(主催:クリフトン科学財団、協力:パブラハム研究所、ケンブリッジ大学 嘉悦センター)。

このワークショップでは、イギリスと日本の高校生が参加し、一週間生活をともにしながら様々な科学テーマについて研究し意見を交わします。プログラム最終日には、参加学生による研究発表も行われています。

▶ [日英高校生サイエンスプログラムについての詳細はこちら\(英語サイト\)](#)

ケニアで太陽光パネルの設置支援(イギリス)

Mitsubishi Electric Europe,B.V. は、アフリカ ナイロビのマザレ北地区で活動を展開している慈善団体「Akamba Children's Education Fund」へ太陽光パネルを寄付しました。

パネルは、多くの住民が電気不足に陥っている当地区の学校「Brainhouse Academy」に設置されています。この学校は、900名以上の子どもたちの教育と福祉を促進するため自治体によって開設されたものです。

当校には最低限の設備があるのみで、水洗トイレ、上水道、電気、教科書はありません。このような環境ですが、子どもたちには教育と1日1回の食事が与えられています。学校の職員は、夢のようだと今回の寄贈を大変喜んでいました。



ヒストリック・ロイヤル・パレスへの支援(イギリス)



ヒストリック・ロイヤル・パレス(以下HRP)はイギリスの独立慈善団体で、ロンドン塔やハンプトンコート宮殿、バンケティングハウス、ケンジントン宮殿、キュー宮殿を管理しています。

宮殿自体は王室の所有ですが、当団体は、政府や王室から資金援助を受けず、見学者、会員、募金、ボランティア、スポンサーなどからの支援によって支えられています。

Mitsubishi Electric Europe,B.V. は2010年からHRPを支援しており、近年は宮殿の写真コレクション75,000点からなるオンライン版電子図書館の製作プロジェクトを支援しています。

スペシャルオリンピックスへの支援

2012年、Mitsubishi Electric Europe B.V. イタリア支店は、知的障がい者のためのスペシャルオリンピックスを支援しました。ロンバルディ地域で開催されたこのスペシャルオリンピックスでは、複数地域でのテニスの試合および国際会議が行われました。



地元のスポーツプログラムを支援(イタリア)



Mitsubishi Electric Europe B.V. イタリア支店は、2012年もモンツァ市が主催する市民のためのプログラム「sport nel parco」のメインスポンサーとして支援を行いました。このプログラムでは、ヨーロッパで最も大きい公園の一つ「Parco de Monza」で、6ヶ月間無料で14種類のスポーツを楽しむことができます。

科学技術教育に貢献(イタリア)

Mitsubishi Electric Europe B.V. イタリア支店は、ミラノにあるレオナルド・ダ・ヴィンチ記念国立科学技術博物館のオフィシャルパートナーです。博物館内にあるロボットの常設展示エリアには、特別展示としてレオナルド・ダ・ヴィンチによる500年以上前のテクノロジーも再現されている他、三菱電機のファクトリーロボットも同じ場所で見ることができます。

小中高生の科学技術への関心を高めることは、教育における長期的課題です。科学技術教育と名づけられた当プロジェクトは、ロボットを展示するヨーロッパの博物館の中で最大級のものになることを目的としています。



ボランティア団体「メイク・ア・ウィッシュ」への支援(スペイン)



Mitsubishi Electric Europe B.V. ポーランド支店は、難病と闘う子どもたちの旅行と体験を応援するため、2012年にボランティア団体「メイク・ア・ウィッシュ」とスポンサー契約を交わしました。

今回の支援により、3歳から18歳の難病と闘う子どもたちが持つ夢の実現の手伝いをすることができます。

パラオ音楽祭への協賛(スペイン)

Mitsubishi Electric Europe,B.V.スペイン支店は、数年間にわたり、将来有望な若手音楽家を支援しています。ユネスコの世界遺産にも登録され、世界的に一流のコンサートホールであるバルセロナの「パラオ音楽堂」で毎年行われる、若手音楽家の登竜門「パラオ音楽祭」へ協賛しています。

予選を勝ち抜いた出場者の中から、本選で優勝者が決められ、賞金が授与されます。しかし、パラオ音楽祭に出場すること自体が音楽の世界においてプロの道へのステップと考えられており、実際には、出場できること自体が大変名誉な音楽祭です。



ライン河畔の清掃(ドイツ)



2012年3月、Mitsubishi Electric Europe,B.V.ドイツ支店は、昨年が続いてデュッセルドルフ市が開催する清掃活動「Clean-up Day in Dusseldorf」に参加しました。当活動では、市内を流れるライン川沿いを清掃します。

14回目を数える今回は140以上の企業が参加し、総勢約5,000人で22トン以上のゴミを集めました。

ラティンゲン市の「ヘレン・ケラー・スクール」に車を寄贈(ドイツ)

Mitsubishi Electric Europe B.V.ドイツ支店は、身体障がいを持つ子どもたちが通う学校「ヘレン・ケラー・スクール」に車を寄贈しました。この車で、子どもたちはスポーツ会館など学校の外へ出かけることができます。以前と比べてずっと外出しやすくなったと喜ばれています。



若手音楽家の育成(フランス)



音楽を通じて我々の生活を魅了してくれる人材は、音楽のキャリア形成を支援し激励するに値するとの考えから、Mitsubishi Electric Europe,B.V. フランス支店は、若手音楽家を発掘し、才能を伸ばしていくことを主目的とした独立系音楽レーベル「Intrada」(イントラーダ)と協賛関係を構築しています。

そして、年間1枚のCDを出すことを若手音楽家に約束し、また素晴らしい音楽と有能な人材を求めている鑑賞者を招待して、一流のコンサートを開催しています。

最先端のオートメーション・ロボティクス トレーニングセンターを開設(ポーランド)

2011年にポーランド国家教育省と連携し、ウッチ市に「オートメーション・ロボティクス トレーニングセンター」を設立しました。ポーランドでは国をあげて製造業や生産基盤の近代化を進めているという背景があり、年間一万人以上の学生や教師がこのセンターを利用しています。

利用者には、産業界からのエンジニアや、地元大学やウッチ市の教育施設で勉強をしている学生がいます。センターは、三菱電機やフェストなどのグローバル企業から提供された、最先端の自動化製品やシステムを完備しています。



未来のエンジニアがファクトリーオートメーションのショールームを見学(ポーランド)



将来エンジニアになるかもしれないクラクフ市の小学生50人が、Mitsubishi Electric Europe B.V. ポーランド支店のファクトリーオートメーションのショールームを見学しました。見学の際、こどもたちには三菱電機の未来のエコロボットを想像して描くという課題が出されていましたが、どれもとてもよく出来ていました。

見学にあわせて、簡単な日本語の授業も行い、こどもたちはカタカナで自分の名前を学びました。

「Golf Style & Music 2012」への協賛(ロシア)

Mitsubishi Electric Europe B.V. モスクワ支店は、ロシア市内のゴルフクラブで6月に開催されたイベントに協賛しました。今年は、才能あるこどもたちを支援している著名なロシア人ピアニスト後援によるチャリティ団体「Hands' Music」とともに、恒例の「Golf Style」トーナメントが行われました。夜のパーティでは、「Hands' Music」が支援するこどもたちによるパフォーマンスや、この団体へ売り上げが寄付されるチャリティオークションが開催されました。



▶ [「各地域での活動を見る」に戻る](#)

社会貢献活動分野

▶ 社会福祉

▶ 地球環境保護

▶ 科学技術振興

▶ 地域貢献

▶ 文化・スポーツ

西ジャワ州で1000本の木を植樹(インドネシア)



インドネシアのMitsubishi Electric Automotive Indonesia(以下MEAINA)は、三菱電機グループの環境ステートメントにならい、2011年に自然保護活動を実施しました。

今回の活動では、西ジャワ州ガルトにある村の市営林で1000本の木を植林しました。この村には歴史的建造物があるため、さらに緑を増やして地域の人々や観光客が訪れやすい魅力ある場所にする事と、このエリア周辺の土地の保水力を高めることが活動の目的です。MEAINAの従業員300人、村の人々、そしてガルト自治体の職員も植林に参加しました。NEAINAはまた、この機会を活用して村近隣の3つの小学校へ文房具をプレゼントしました。NEAINAは活動日から1年間、今回植樹した場所の森林管理も行い自分たちが植えた木を見守っています。



近隣中学校でのボランティア活動(インドネシア)

2011年の4月から6月にかけて、Mitsubishi Electric Automotive Indonesiaは近隣の中学校でボランティア活動を行いました。

対象となった中学校は、メインとなる大通りから離れたところに位置しており、他の学校に比べて自治体から注目されることが少なかったことが、この学校を支援した理由です。学校の敷地はまだ赤土のまま整備が進んでいなかったため、学校からのリクエストに応じて、雨が降っても水が地表にたまらず地中に吸収される舗装ブロックを設置しました。また校舎の壁も塗りなおしたことで、学校は前に比べて明るくなりました。



親をなくした子どもたちと、幸せを分かち合おう(インドネシア)



インドネシアのMitsubishi Electric Automotive Indonesiaでは、「親をなくした子どもたちと、幸せを分かち合おう」をテーマに掲げ、2011年にイスラム教の団体と協力して地元の親をなくした子どもたちを会社に招待するイベントを行いました。

レバラン※を記念して開催したこのイベントでは、子どもたちに本や鉛筆、消しゴムなどの文房具のほか、「サルン」と呼ばれる祈りを捧げるときに着たり、毛布としても使える便利な織物や、お小遣いをプレゼントしました。また、みんなで一緒に過ごしたラマダン(断食)の終わりを祝う夕食では、マクドナルドの協力のもと、子どもたちに本の読み聞かせも行いました。

※レバラン:ラマダン明けの大祭で、インドネシアのイスラム教徒には非常におめでたい日

ペンキを塗り直して校舎リニューアル(タイ)

タイに拠点を持つMitsubishi Electric Automation Thailandは、2013年にアーントーン県にある学校で、校舎のペンキ塗りや、壊れた机や椅子の修繕を行いました。社員110名以上が揃いのピンク色のTシャツを着て参加し、気持ちの良い汗を流しました。

作業が終わると、まるで新しい学校のように子どもたちや先生方に喜んでもらうことができました。



古着リサイクル活動(台湾)



台北市知的障がい者リハビリテーション協会から
Mitsubishi Electric Taiwanへの感謝状

Mitsubishi Electric Taiwanは毎年旧正月の時期に、社内に古着のリサイクルBOXを設置し、「台北市心理復健家族連合協会」(台北市知的障がい者リハビリテーション協会)へ古着を寄贈しています。この協会は知的障がい者の社会復帰を支援しており、古着リサイクルは社会的自立支援の一つのプログラムとなっています。

社員はこの活動を通じ、知的障がい者の自立を支援すると共に、環境を意識した活動を行っています。

台北市立動物園への支援(台湾)

Mitsubishi Electric Taiwanは、2012年3月から台北市立動物園へ寄付を行っています。この寄付は、絶滅危惧種である台湾梅花鹿の飼育を目的とするものです。2013年も継続した支援を行っており、3月に贈呈式を実施しました。



台北市立動物園での贈呈式の様子

上海市で植樹活動(中国)



三菱電機(中国)有限公司は、環境貢献活動の一環として2008年から上海市政府との連携により植林活動を主催しています。地域貢献、環境保護というCSRの意義に加え、社員の家族と共にグループとしての一体感を育む大切なイベントになっています。



アースデーの植樹活動(フィリピン)

Laguna Auto-Parts Manufacturing Corporationの従業員は、2013年4月のアースデーに合わせてラグナ州サンタローザ市主催の植樹活動に参加しました。低炭素社会で持続可能な都市をテーマに、市内の様々な企業や市民団体が参加し、市へ寄贈された土地へ1,000本の木を植えました。太陽が照りつける中での大変な作業でしたが、地域の環境改善に貢献できるやりがいのある活動でした。



財団のご紹介

米国三菱電機財団

概要

1991年に基本財産1,500万ドルで設立した米国三菱電機財団(Mitsubishi Electric America Foundation)は、障がいをもつ若者達が充実した日々を過ごせる社会を目指して活動を推進しています。米国各拠点とのつながりも強く、社員と共に実施する取り組みも活発に行っています。その実績を評価され、これまでにAmerican Foundation for the Blindからの栄誉ある「ヘレン・ケラー実践賞」をはじめとするいくつかの賞を受賞しています。

▶ [米国三菱電機財団のウェブサイトはこちら\(英語サイト\)](#) 

動画でわかる社会貢献活動

米国三菱電機財団



 [動画を見る](#) 

活動紹介

先駆的プロジェクトへの助成

障がいを持つ若者達がリーダーシップや就業能力を高め、社会の中で活躍できるよう、全米の先駆的プロジェクトを助成しています。その支援先プログラムの一例を以下にご紹介します。

連邦議会インターンシップ・プログラム

2002年から、障害者全米協会(AAPD)の連邦議会インターンシップ・プログラムを支援しています。このプログラムでは、毎年、障がいを持つ学生をインターンとして連邦議会事務所へ送り出しており、学生は政策にかかわる仕事をしながら実用的な職業体験を得ることができます。また、障がいを持つ人でも機会があれば働くことができ、社会に貢献できるという事実に対する世の中の認知度を高めるのにも、このプログラムは役立っています。



2007年度インターンシッププログラムの元インターン



2011年春、ワシントンで開催された会議で、障がいを持つ少女達と一緒に活動していくための方法を学んだガールスカウト。

インクルージョンを推進する団体への支援

財団では、インクルージョン※を推進しています。その考えと合致する活動を行う、ガールスカウトなどの団体を支援しています。

インクルージョンとは

障がいを持つ人もそうでない人も、一緒になって地域社会の中で暮らし、充実した毎日が送れるようにすることです。「障害のある人を含む全ての人が、学校や地域社会で必要とする個々のニーズに応じた適切な支援を保障され、教育を受けたり生活したりすることを意味する。」

出典：標準社会福祉用語辞典(第2版)

米国拠点社員との連携

「Changes for the Better」の精神で、米国三菱電機各社の社員ボランティアと共に様々なイベントを企画しています。また、社員がイベントで集めた募金に、それと同額を当財団が上乘せるプログラムもあり、1991年以来、当財団は1.1千万ドル以上を米国各地に拠出し、社員ボランティアの活動時間は40,000時間以上となっています。(2012年時点)。以下にその活動事例をご紹介します。

ホールウェイゴルフ

米国三菱電機各社では、若年障がい者の教育や放課後のプログラムへ寄付をするため、2007年から毎年、社員ボランティアによる室内ゴルフ大会を開催しています。会社の廊下や工場の床にミニチュア版ゴルフコースを制作し、取引先に各コースのスポンサーになってもらったり、年間をとおしてのプレイ代を集めたりすることで支援を募ります。



職業訓練

障がい者雇用推進月間の活動として、毎年10月に障がいを持つ学生を対象とした、職業体験を実施しています。多くの社員ボランティアが、この全米的な活動に参加しており、学生には仕事の様子を見てもらったり、実際に仕事を体験してもらったりして、キャリア開発のお手伝いをしています。

財団のご紹介

三菱電機タイ財団

概要

1991年に基本財産2千万バーツで設立した三菱電機タイ財団(Mitsubishi Electric Thai Foundation)は、社会福祉と科学技術振興の分野で活動を行っており、大学生に対する奨学金支給や、小学校への給食支援プログラムなどを実施しています。

動画でわかる社会貢献活動
三菱電機タイ財団



📺 動画を見る 🗑

活動紹介

奨学金プログラム

1993年から「奨学金プログラム」として、毎年3つの工学系大学の学生に対し奨学金を支給しています。

成績優秀ながら、家からの仕送りが少なく学業に支障がある学生が対象で、タイの科学技術の発展の一助となっています。

2012年度からは、更にもう1校が奨学金支給の対象に加われました。





昼食支援プログラム

1999年から、タイ文部省より推薦された小学校30校に対して毎年各1万パーツを寄付しています。

この寄付により、小学校は野菜の種や苗、肥料などを購入し、子どもたちが野菜の栽培や家畜の飼育をしています。出来あがった収穫物は、それらを育ててきた子どもたちの給食に充てられています。栽培や飼育活動を通じて、育てることの大切さや楽しみも同時に伝えています。



学校ボランティア

小学校でのボランティア活動を、タイ拠点の社員と共に行っています。子どもたちや先生と一緒に、植樹や清掃、建物のペンキ塗り、机と椅子の修理などを行っています。

社員が自ら行動することで、子どもたちに「努力することの大切さ」や「ものを大切にすること」を伝えていけるよう、子どもたちとのコミュニケーションを大切にしています。



災害支援・復興支援

災害支援

- ▶ 2013年4月23日 [中国・四川省地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2011年10月27日 [トルコ東部で発生した地震に対する支援について](#)
- ▶ 2011年10月17日 [タイでの水害に対する支援について](#)
- ▶ 2011年4月27日 [東日本大震災の被災者及び被災地に対する追加支援について](#)
- ▶ 2011年3月14日 [東北地方太平洋沖地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2010年4月26日 [中国青海大地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ 2010年3月12日 [チリ地震の被害に対する支援について](#)
- ▶ [2009年以前の災害支援情報はこちら](#)

復興支援

- ▶ [どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援](#)
2012年2月から、東日本大震災の被災地に寄り添い、継続して復興を応援する取り組みとして、被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています。
- ▶ [震災遺児および被災地の子どもたち支援について](#)
- ▶ [スポーツチームによる復興支援](#)

2009年以前の災害支援情報

2009年以前の災害支援情報

スマトラ島沖地震の被災者支援(インドネシア)

2009年9月30日(水)に発生したスマトラ島沖地震の被災者へ、Mitsubishi Electric Automotive Indonesiaは義援金をおくりました。この義援金により、家を失った被災者に仮設住宅を提供することができます。2010年1月8日(金)までに、約1,005戸の仮設住宅が西スマトラ政府へおくられています。

今回、Mitsubishi Electric Automotive Indonesiaはおよそ5,000ドルを寄付し、従業員からもおよそ200ドルの寄付が寄せられました。

台風8号の被災者支援(台湾)

2009年8月、台湾は台風8号(マラコット)に襲われ、その暴風雨による大規模な土砂崩れと深刻な洪水に見舞われました。台湾南部では、土砂崩れにより村がまるまる一つ埋まってしまった事例もあります。従業員達から寄せられた金額(自分の一日分の給料と同額を寄付)を合わせて、三菱電機台湾はおよそ106,000,000円をおくりました。また被災者のために、損傷したエアコンやCNC製品(コンピュータ数値制御装置)の低額での修理を申し出ました。

岩手・宮城内陸地震の被害に対する支援について(東北)

三菱電機株式会社は、2008年6月14日(土)に発生した岩手・宮城内陸地震被害への支援として、三菱電機株式会社で総額500万円の支援を行いました。

三菱電機 中国・四川大地震の被害に対する支援について(中国)

三菱電機グループは、2008年5月12日(月)に発生した中国・四川大地震被害に対する支援として、総額約5,000万円(救援物資の提供を含む)の緊急支援を行いました。

新潟県中越沖地震の被害に対する支援について(新潟)

三菱電機は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震被害に対する支援として、総額1,000万円(救援物資の提供を含む)の緊急支援を行ないました。

能登半島地震の被害に対する支援について(能登半島)

三菱電機は、2007年3月25日に発生した能登半島地震被害に対する支援として、石川県に義援金100万円、救援物資として洗濯機20台と乾燥機10台を提供致しました。

福岡県西方沖地震における義援金・物資の寄贈(福岡)

2005年3月20日に発生した福岡県西方沖地震で特に被害が大きかった玄界島被災住民の方々への仮設住宅向けに、義援金百万円と義援物資(洗濯機50台)を福岡市に寄贈しました。

これを機に防災対策を強化し、その対策の一つとして防災用品(ヘルメット、毛布、飲料水他)の社内配付を実施しました。

スマトラ島沖地震及びインド洋津波災害に対する支援について

三菱電機株式会社(執行役社長:野間口 有)は、2004年12月26日に発生したスマトラ島沖地震及びインド洋津波災害への支援として、三菱電機グループで総額約5,000万円の支援を行うことを決定しましたのでお知らせします。今後も引き続き支援を検討してまいります。

社を代表して、新潟県中越地震のお見舞いを贈呈(新潟)

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震に際しては、当社として1,000万円の義援金および石油ファンヒータ400台を、新潟県災害対策本部に対し贈呈しました。

また、三菱電機ソシオルーツ基金は、社員からの寄付1,174万円と同額をマッチングさせ2,348万円を寄贈しました。

どんぐりを育てて被災地の緑の復興支援

被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています

三菱電機は、東日本大震災の被災地に寄り添い、継続して復興を応援する取り組みとして2013年2月から被災地のどんぐりを育てるプロジェクトに参加しています。

現在、社内で募った約800名の参加者が、苗木の育成に取り組んでいます。育成期間は3年間で、北海道から沖縄まで、全国各地で社員やその家族が苗の成長を楽しみながら被災地に思いを寄せています。また、活動をとおりて生物多様性保全への理解を深めることもできます。

被災地のどんぐりを育てるプロジェクトとは

林野庁が進める『『みどりのきずな』再生プロジェクト』に関連した、公益財団法人日本環境協会等が実施する活動です。被災地で拾ったどんぐりを植樹可能な大きさの苗木になるまで全国各地で育て、現地に送り返して植樹することで被災地の海岸林や緑地の再生をめざすものです。

東日本大震災の津波では、岩手・宮城・福島などの広大な海岸林や、公園や学校などの緑地が大きな損傷を受けました。その回復のためには、これから何年もかけて何百万本もの植樹を行わなければなりません。誰もが参加できる本プロジェクトは、被災地の「緑の復興」を支えるだけでなく、全国から送られてくる沢山の苗、再生していく緑で被災地の方々を勇気づける「心の復興」にもつながります。



<関連ウェブサイト>



- ▶ [プロジェクトD - 被災地に緑と心の復興を!](#) 



- ▶ [林野庁/『みどりのきずな』再生プロジェクト』における民間団体との連携](#) 
- ▶ [公益財団法人日本環境協会 - Japan Environment Association -](#) 

取り組み風景



2013.3.14
どんぐり配布時の様子

全国各地でいろいろなどんぐりが育っています。



スポーツチームによる復興支援

スポーツを通じて、東日本大震災の被災地のみなさんに元気をお届けしています。

バスケットボール



当社バスケットボールチーム「三菱電機ドルフィンズ」と「三菱電機コアラーズ」は、宮城県でのクリニックを震災直後に再開し、毎年継続して行っています。参加することもたちは、チームのコーチや選手と一緒に、基礎練習やフリースロー大会、選手との交流試合、サイン会などを楽しんでいます。

テニス

当社のテニスチーム「三菱電機ファルコンズ」は、「テニスを通して元気になろう」をテーマに仙台市と郡山市でクリニックを行っています。当社所属の仙台出身プロテニスプレーヤー、杉田祐一プロをはじめとするメンバーがコーチとなり、参加者とともに汗を流しています。



アメリカンフットボール



三菱グループの合同チーム「オール三菱ライオンズ」は2012年6月に、東日本大震災の復興支援ボランティアとして、宮城県の南三陸歌津地区でアメフトパワーを活かした土嚢づくりや丸太撤去などを行いました。また、チアリーダーが仮設住宅に住む方々にダンスパフォーマンスを披露し、喜んでいただきました。

これまでのあゆみ

1990年9月	社会貢献活動委員会設置
1991年2月	米国三菱電機財団設立
12月	三菱電機タイ財団設立
1992年4月	マッチングギフト制度「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」設立
1993年7月	経済広報センター「企業広報賞」受賞
9月	三菱電機タイ財団 奨学金プログラムスタート
1994年4月	中津川製作所ボランティアクラブ(MVクラブ)立ち上げ
1996年4月	稲沢製作所ボランティアクラブ(MIVクラブ)立ち上げ
4月	ヘルスケア・ボランティア休暇制度導入
9月	米国環境保護庁(EPA)Best of the Best賞受賞
1998年6月	群馬製作所ボランティアクラブ(MGVクラブ)立ち上げ
1999年1月	三菱電機タイ財団「小学校昼食支援プログラム」スタート
2000年5月	米国三菱電機財団「2000年度ヘレン・ケラー実践賞」受賞
9月	日本赤十字社紺綬褒章受賞
2001年9月	米国同時多発テロ被災者救済・復旧支援
2002年8月	中国青海省情報センター寄贈
2003年5月	富士山育林ボランティア活動開始
2004年7月	昭和天皇記念献血推進賞(日本赤十字社)受賞
11月	新潟県中越地震被災地支援

2005年1月	スマトラ沖地震被災地支援
10月	米国ハリケーン被災地支援
2006年8月	ジャワ島地震被災地支援
2007年4月	能登半島地震被災地支援
7月	新潟県中越沖地震被災地支援
10月	愛知県「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
10月	社員参加型の全社的活動「里山保全プロジェクト」を開始
2008年3月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」寄付金累計5億円突破
3月	兵庫県丹波県民局「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
5月	中国・四川大地震被災地支援
6月	中津川市「根の上 生きた自然公園」づくり協定締結
6月	岩手・宮城内陸地震被災地支援
2010年3月	チリ地震被災地支援
4月	中国青海省大地震被災地支援
6月	高周波光デバイス製作所・里山保全プロジェクト参加
7月	下御領生産森林組合、広島県東部森林組合と「神辺四季の森づくり」協定締結
8月	科学技術振興のためのプログラム「科学教室」への取り組みを開始
2011年3月	東日本大震災被災地救済・復旧支援
8月	東日本大震災の震災遺児等への支援を開始
10月	タイ水害被災地支援
10月	トルコ地震被災地支援
2012年4月	「三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金」が設立20年
2013年2月	三菱電機SOCIO-ROOTS基金の活動に対して中央共同募金会様から感謝状
3月	熊本県合志市と「河川清掃活動協定」締結(パワーデバイス製作所熊本工場)
4月	「鎌倉市遊休農地解消対策実践活動協定」締結(神奈川地区全事業所)
4月	住友林業株式会社様から富士山育林ボランティア活動継続10年に対して感謝状